



暖房器具の火災実験

石油ストーブなどの暖房器具の使い始めは火災が増えるとともに、消毒用アルコールは可燃性が高く、消毒機会の増加により火災の発生が危惧されます。

暖房器具による火災予防広報を目的として、下記のとおり、火災実験を行い、取扱い時の注意事項を、広く市民向けに周知したいと考えております。

つきましては、この取り組みを取材していただき、広報活動にご協力をお願いいたします。

記

1 実験日時

令和3年11月11日（木）10時から

2 実験場所

新潟市消防局消火体験室

3 実験内容（予定）

- 消毒用アルコール、灯油の燃焼実験
- 石油・電気ストーブでの火災実験
- その他

4 その他

取材いただける場合は、11月10日（水）17時までに担当宛て裏面の取材希望調査書をFAX送信してください。



【担当・問い合わせ先】

新潟市消防局 予防課 火災調査係
担当 杉本・佐藤
電話 025-288-3230
FAX 025-288-3215
E-mail yobo.fb@city.niigata.lg.jp

新潟市消防局予防課
担当 杉本・佐藤
FAX 025—288—3215

取材希望調査書

火災実験	
<input type="checkbox"/>	11/11(木)10:00～ 暖房器具の火災実験
ご担当者名	
会社名	氏名
連絡先 TEL	

ストーブ火災の発生状況

1 令和3年及び過去5年

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計
ストーブ（石油、電気、ガス、まき、石炭など）	19	10	6	12	11	3	61
うち石油ストーブ（ファンヒーター含む。）	15	5	4	8	6	2	40
うち電気ストーブ	2	4	2	1	1		10

2 月別

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
2	6	17	6	13	7	6	0	4	61

3 発生経過別

洗濯物などがストーブの上に落ちたり、布団がストーブに触れて出火する。 （可燃物が火源の上に転倒落下する、可燃物が動いて火源に触れる。）	23
石油ストーブを消さずに給油した際、給油タンクの蓋がとれて灯油がストーブにかかって出火する。	14
ストーブの前にカセットボンベを置いたために爆発する。 （引火する。）	2